

都市部に残された 貴重な猪名川自然林と市民力



市民の要望で残されたかつての堤防



尼崎市側から見た豊中の自然林

豊中市の西部にある、兵庫県との境を流れる一級河川・猪名川。大きく蛇行する川の流に伴う氾濫により、豊潤であった土地を農地利用することで多くの人々が住む土地でしたが、一方で洪水被害は絶えませんでした。1963年から7年かけて川の付け替え工事をしたことで立派な堤防が完成し、地元の市民の要望でかつての堤防は今でも自然林として残されています。

今回は、尼崎市側の自然林で緑の保全と生物多様性の活動に取り組まれている方を講師にお招きします。活動の歴史や実態、今後に向けて等、一緒に学習しませんか。

日 時：2022年1月16日(日) 14:00~16:00
場 所：豊中市立中央公民館 3階講座室
講 師：新貝 亮之介さん
(自然と文化の森協会 緑部会)
参 加 費：無料
定 員：25人
申 込 み：1月14日(金)までにアジェンダ21へ(先着順)
電 話：06-6844-8611 (eMIRAIE 環境交流センター内)



★★新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するお願い★★

- ① マスクを着用し咳エチケットを行ってください。
- ② 受付時の検温にご協力ください。
- ③ 発熱や体調不良がある場合、同居者や身近な人に感染や感染の疑いがある場合は、ご参加をお控えください。

主催：NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会
(この事業は豊中市立環境交流センター指定管理事業として開催します)